BOSCH

EasyHedgeCut 45

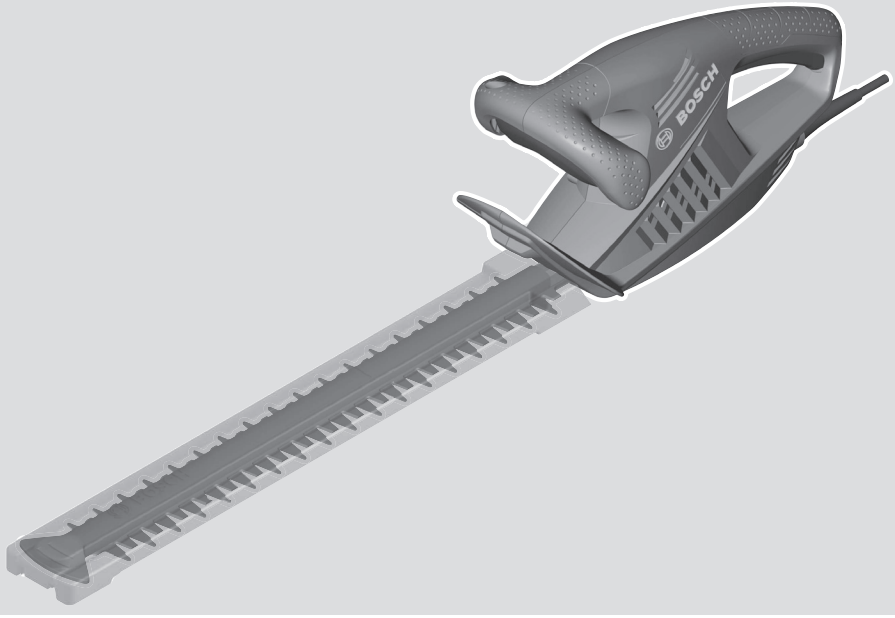
ボッシュ株式会社　電動工具事業部
ホームページ:http://www.bosch.co.jp
〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーコール
0120-345-762
(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。

F 016 L94 148 (2023.08)

F 016 L94 148



取扱説明書

このたびは、弊社ヘッジトリマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目　次

記号について 3

安全規則 5
- 警告表示の区分 5
- 一般安全規則 5
- ヘッジトリマーに関する安全規則 9

安全上のご注意 10
- コード式電動工具全般についての注意事項 10
- ヘッジトリマーについての注意事項 14

用　途 18

各部の名称 18

仕　様 18

標準付属品 19

作業前の準備 20
- 使用電源を点検する 20
- ブレード(刃)を点検する 20

操　作 20
- 作業する 20
  - 電源の“入”“切” 21
  - 作業する 21

クリーニング 22

保　管 22

廃　棄 22

故障かな?と思ったら..... 23
修理を依頼するときは..... 24

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。
記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

記　号	説　明
	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク（紙製容器包装）
	リサイクル識別表示マーク（プラスチック製容器包装）
～	交流
	クラスⅡ電動工具
	電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示
	保護具を装着してください

	保護メガネを装着してください
	移動方向
	反動方向
	質　量
	電源“入”
	電源“切”
CLICK!	可聴音
	禁止行為
	アクセサリー／スペアパーツ

安全規則

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠危険 、 ⚠警告 、 ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠危険 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠警告 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則

⚠ 警 告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a）作業場

1）作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。

2）爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。

3）電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電気的安全性

1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。

2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。

屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。

3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。

◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。

4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。

◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

c) 人的安全性

1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。

3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。

◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。

5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。

6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。

3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。

4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱いなれていない人に渡すと、危険です。

◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

◆ 鍵のかかる所に保管してください。

5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。

7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。

◆ 指定されたアクセサリー以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。

◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。

◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

f) その他

1) この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
   ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
2) 電動工具および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

ヘッジトリマーに関する安全規則

⚠ 警 告

a) 電動工具を、雨中やぬれた場所で使用しないでください。
b) 電動工具を、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所に放置しないでください。

安全上のご注意

◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 警 告

● 感電に注意してください。

◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

● 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

・電源コードや電源プラグが異常に熱い。

・電源コードに深いキズや変形がある。

・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。

・焦げくさい臭いがする。

・ビリビリと電気を感じる。

・スイッチを入れても動かない。 など

● 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。

◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。

● やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。

◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

● つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)

● 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)

● アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)

● 作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に電動工具の後方に離してご使用ください。

◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。

● 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

● 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

● 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

● 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
−できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
−作業場所の換気に注意してください。
−DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

● 作業場で粉じんの堆積は避けてください。

◆ 容易に発火する恐れがあります。

● 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。

◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

● 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。

◆ 爆発の恐れがあります。

● 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。

◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

● アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。

◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

● 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

● 安全上のご注意は、必ず守ってください。

◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

⚠ 注　意

● 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

● 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ヘッジトリマーについての注意事項

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、ヘッジトリマーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠ 警　告

- **落雷の危険があるなど悪天候のときは、電動工具を使用しないでください。**
  - ◆ けがや事故の原因になります。

- **日中や、十分に明るい照明の下で作業してください。**
  - ◆ 暗い場所での作業は、けがの原因になります。

- **雨中での作業や、ぬれた植木の刈り込みは行わないでください。**
  - ◆ 電動工具に水分が入ると、感電の恐れがあります。

- **作業前に、必ず全てのグリップとハンドガードが所定の位置に取り付けられていることを確認してください。**
  グリップやハンドガードが取り付けられていない、または改造された電動工具は絶対に使用しないでください。

- **ハンドガードに欠陥がある場合は、電動工具を操作しないでください。**

- **電動工具が常に安全な作業状態になるように、全てのナット、ボルト、ネジはしっかりと締めておいてください。**

- **作業前に、ブレード（刃）、ブレード取り付けネジに損傷や摩耗がないか点検してください。損傷または過度に摩耗している場合は使用せず交換してください。**

● ブレード(刃)との接触を防ぐため、この電動工具はスイッチ付きの2つのグリップで構成されています。電動工具を操作するには、両方のスイッチを同時に作動させる必要があります。
スイッチが作動しない場合、またはスイッチが片方だけしか作動しない場合は使用しないでください。

● 作業前に必ず、ブレード(刃)にスプレー式の潤滑油を塗布してください。

● 裸足やオープンサンダルを履いているときは、電動工具を操作しないでください。
◆ けがの原因になります。

● 作業時は、次の服装、保護具を着用してください。
◆ 着用しないと、けがの原因になります。
・袖口がきちんと閉まる長袖の作業服
・すそ閉まりのよい長ズボン
・規格に合ったヘルメットなどの保護帽
・すべり止めのある安全靴(先芯入り)
・保護メガネまたはフェイスシールド
・手袋

● 作業を始める前に作業する場所をよく点検し、ワイヤーフェンスや電線などの異物がないことを確認してください。
◆ 異物の破片が飛散すると、けがの原因になります。

● 作業を始める前に、3m以内に人や動物、機械などがないことを、必ず確認してください。また、使用中も3m以内に近づけないでください。
◆ 3m以内に近づくと、けがや事故の原因になります。

● 絶対にハンドガードを持って電動工具を保持しないでください。

● 「安全ロックスイッチ」を押し込んだ状態で固定しないでください。

◆ 安全ロック機構が働かず、けがの原因になります。

● ブレード(刃)が動いているときは、体をブレード(刃)から遠ざけてください。
枝などを持って切断したり、電動工具を作動させたまま切り終えた枝などの除去作業をしたりしないでください。

◆ 枝などを持って切断したり、電動工具を作動させたまま除去作業を行うと、けがや事故の原因になります。

● 使用中に振り回されないよう、電動工具を確実に保持して作業してください。

◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

● 作業中は、電動工具の音で他の音が聞こえないことがあります。常に周囲の状況に気を付けてください。

● 作業中は、機械の先端部分やブレード(刃)に手や顔を近づけないでください。

◆ 近づけると、けがの原因になります。

● ブレードに詰まった枝などを除去するときは必ず「メインスイッチ」を切り、電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り除いてください。
また、無理に電動工具をこじたりしないでください。

◆ 電源プラグを差し込んだまま、またはバッテリーを取り付けたままで行うと、重大な事故につながる恐れがあります。

● 緊急時に電動工具を迅速に停止させる方法を理解しておいてください。

● 移動するときは、ブレード(刃)が停止した状態で、電源が“入”にならないように注意しながらグリップを持って電動工具を運んでください。電動工具を適切に持ち運ぶことで、不用意に始動し、結果的にブレードで怪我をする危険性を減らすことができます。

◆ ブレード(刃)を動かしたまま移動すると、けがの原因になります。

⚠ 注 意

● 作業直後のブレード(刃)は非常に熱くなっていますので、触れないでください。

◆ 触れると、やけどの原因になります。

● ブレード(刃)が完全に停止するまでは、電動工具を床やテーブルなどに置かないでください。

◆ 先端工具が動いていると、表面に引っ掛かり、電動工具が引っ張られることがあります。

● 電動工具を使用しないときや持ち運ぶときは、必ずブレードカバーを取り付けてください。

◆ カバーを取り付けていないと、けがの原因になります。

● ブレード(刃)は、不用意に触れると危険です。作業時以外でも十分注意してください。

◆ 不用意に触れると、けがの原因になります。

● ブレード(刃)に触れるときは、保護手袋を着用してください。

◆ 着用しないと、けがの原因になります。

用　途

植木、生け垣の刈り込み

☞ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。

各部の名称（25ページ図A参照）

(1) グリップ
(2) メインスイッチ
(3) 安全ロックスイッチ
(4) ハンドガード
(5) ブレード（刃）
(6) ブレードカバー
(7) 電源プラグ
(8) 延長コード*1

*1 延長コードは付属されておりません。市販の屋外用延長ケーブルをご使用ください。

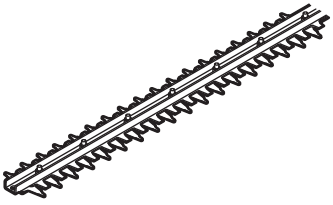
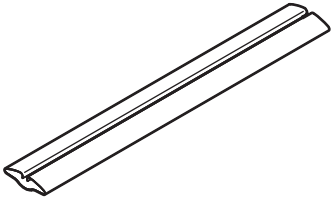
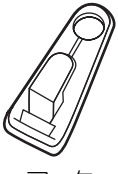
仕　様

品　名		ヘッジトリマー
モデル名		EasyHedgeCut 45
型　番		EHC 45
メーカー製造番号		3 600 H47 A. .
定格電圧	V	A.C.100
	Hz	50-60
消費電力（入力）	W	420
ストローク数	min^{-1}	1,700
刈り込み幅	mm	450
最大切断能力	mm	16
質　量*2	kg	2.6
電源ケーブルの長さ*3	cm	40
感電保護クラス		回/Ⅱ
原産国		ハンガリー

*2 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*3 市販の屋外用延長ケーブルと共にご使用ください。

標準付属品

 ブレード（刃） （本体装着済み）	1本
 ブレードカバー	1個
 フック （本体装着済み）	1個

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

☞ フックは接続する延長コードが外れないように使用します。（25ページ図B参照）

作業前の準備

使用電源を点検する

- ► 単相A.C.100V(50-60Hz)か?
- ► 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか?
- ► 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか?

ブレード(刃)を点検する

- ► ブレードにひび割れや変形などの異常がないか点検してください。
  異常がある場合は使用を中止し、ボッシュ電動工具サービスセンターにブレードの交換を依頼してください。
- ► ブレード(刃)を取り付けているネジが緩んでいないか点検してください。
  緩んでいる場合は、トルクスレンチで締めてください。

操　作

⚠警告

◆ 電源ケーブルが損傷、または断線した場合は、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。(市販の屋外用延長ケーブルはボッシュでは対応対象外です)

作業する

- ► 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
- ► 雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ► ぬれた植木の刈り込みは行わないでください。
- ► 使用するときは、機械の先端部分やブレードに手や顔を近づけないでください。
- ► 使用中は、ブレード(刃)で電源コードを傷つけないように注意し、常に本体の後方に離してください。
- ► 炎天下での作業はできる限り避けてください。
  炎天下で作業される場合は、暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ► 刈り込みを始める前に、ワイヤーフェンスなどが隠れていないか確認してください。
- ► かみ込んだ枝などを取り除くときは、手や指がブレードに触れないように注意してください。

電源の“入”“切”(26ページ図C、D参照)

電源を“入”にするときは、「安全ロックスイッチ③」を引き込みながら、「メインスイッチ②」を引き込みます。

► 本機は、「安全ロックスイッチ③」と「メインスイッチ②」の両方が引き込まれている間だけ作動します。(不意の作動を防ぐ2ステップスイッチ)

電源を“切”にするときは、「安全ロックスイッチ③」と「メインスイッチ②」を離します。

► スイッチから指を離して“OFF”にしても、ブレード(刃)は数秒間作動し続けます。ブレードが完全に止まるまで、待ってください。

作業する(27ページ図E参照)

☞ ワイヤーフェンスや電線などを切断しないように注意してください。ブレード(刃)または、駆動部が損傷する恐れがあります。

☞ ブレード(刃)に枝や異物がかみ込んで本体が停止した場合は、スイッチを切ってください。

進行方向に向かって本体を少し傾けながら、ゆっくりと移動させます。

► 直径10mm以上の太い枝は、あらかじめせん定しておくとスムーズに作業できます。

► ブレードを数秒間軽く押し当てるようにすると、最大直径16mmまでの枝を刈り込むことができます。

► 生け垣を刈り込むときは、先に側面を刈り込んでから、上面を刈り込むときれいに刈り込めます。

► 側面を刈るときは、本体を下から上に向かって移動させると、きれいに刈れます。

► 生け垣の上部は枝が伸びやすいので多めに刈り込み、下部は少なめに刈り込むようにすると、よりバランスよくなります。

► 上面を刈るときは、いろいろな方向から刈ると、よりきれいに仕上がります。
また、刈り込みたい高さに、生け垣の端から端まで糸を張り、糸の上を刈り込むようにすると、きれいに仕上げることができます。

► 本機は左右に刃がついており、どちらの方向にも切断が可能です。

クリーニング(28ページ図F参照)

⚠警告 ◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 通風口や電動工具本体に付いたゴミ、ほこりを取り除く。
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る。
  ・変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
  ・電動工具本体に水をスプレーしないでください。
  ・電動工具本体を水に浸さないでください。
- ブレード(刃)に市販の潤滑油スプレーなどで注油し、ブレードカバーを付ける。

保　管

使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- 電動工具の上に物を置かない。

廃　棄

本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

故障かな?と思ったら

ブレード(刃)が作動しない。

原　因	対　処
電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
電源ケーブルが損傷している	修理を依頼する
市販の屋外用延長ケーブルが損傷している	市販の屋外用延長ケーブルを購入交換する
電動工具本体の故障	修理を依頼する

ブレード(刃)が断続的に作動する。

原　因	対　処
電動工具本体の故障	修理を依頼する

モーターは動くがブレード(刃)が作動しない。

原　因	対　処
電動工具本体の故障	修理を依頼する

ブレード(刃)が過度の高温になる。

原　因	対　処
ブレード(刃)が摩耗している	ブレード(刃)の交換を依頼する
ブレード(刃)が割れたり、欠けたりしている	ブレード(刃)の交換を依頼する
潤滑油不足による摩擦が大きすぎる	潤滑剤スプレーを塗布する

過度の振動・騒音。

原　因	対　処
電動工具本体の故障	修理を依頼する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
  弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール　0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
　コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

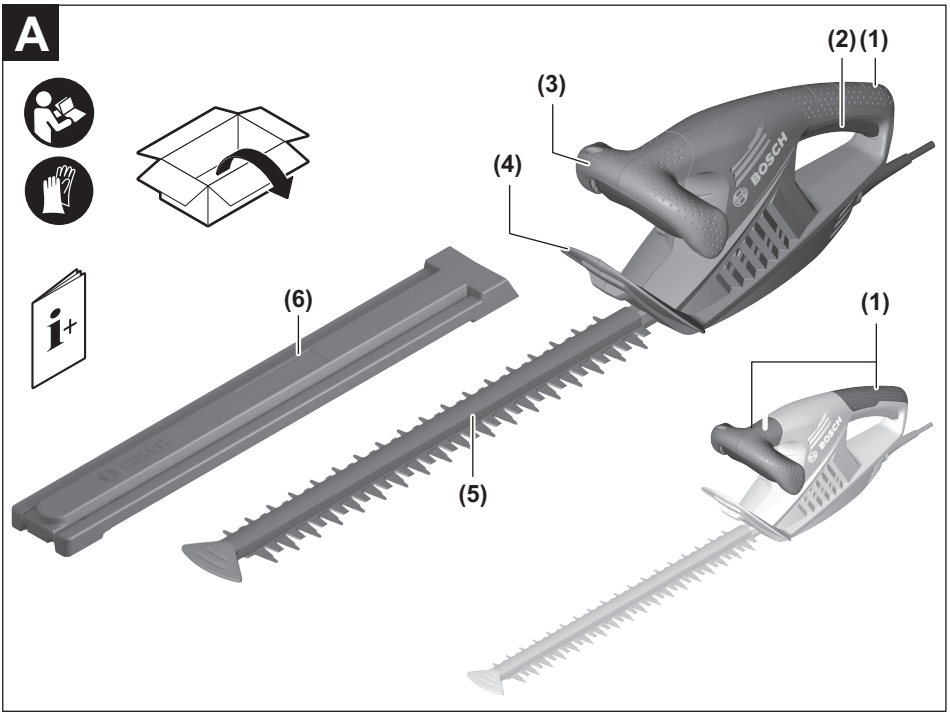
ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

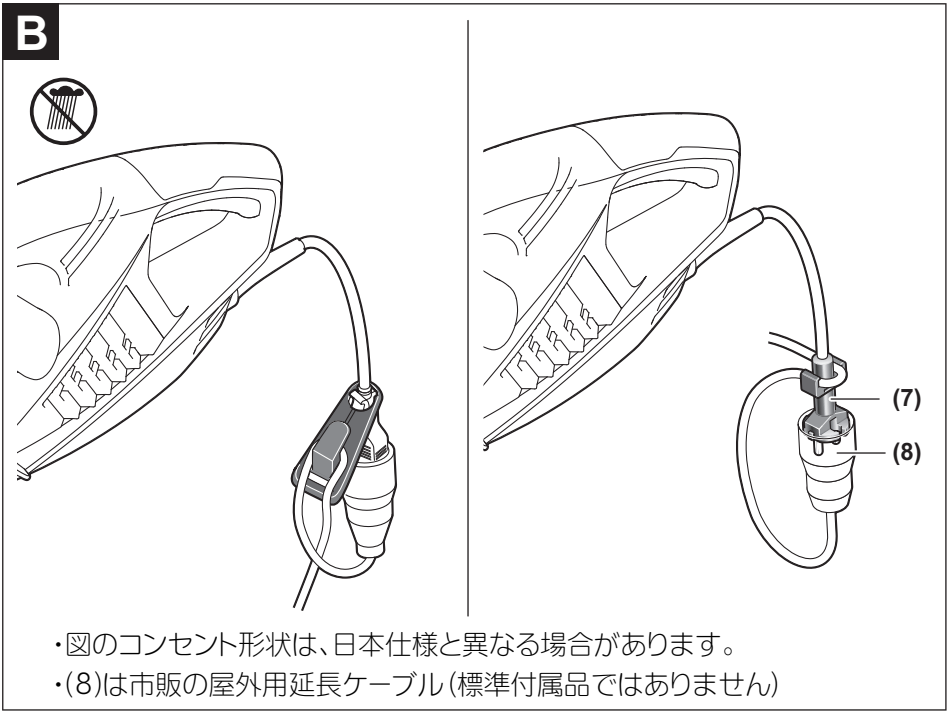
ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813　埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030　FAX 0493-56-5032

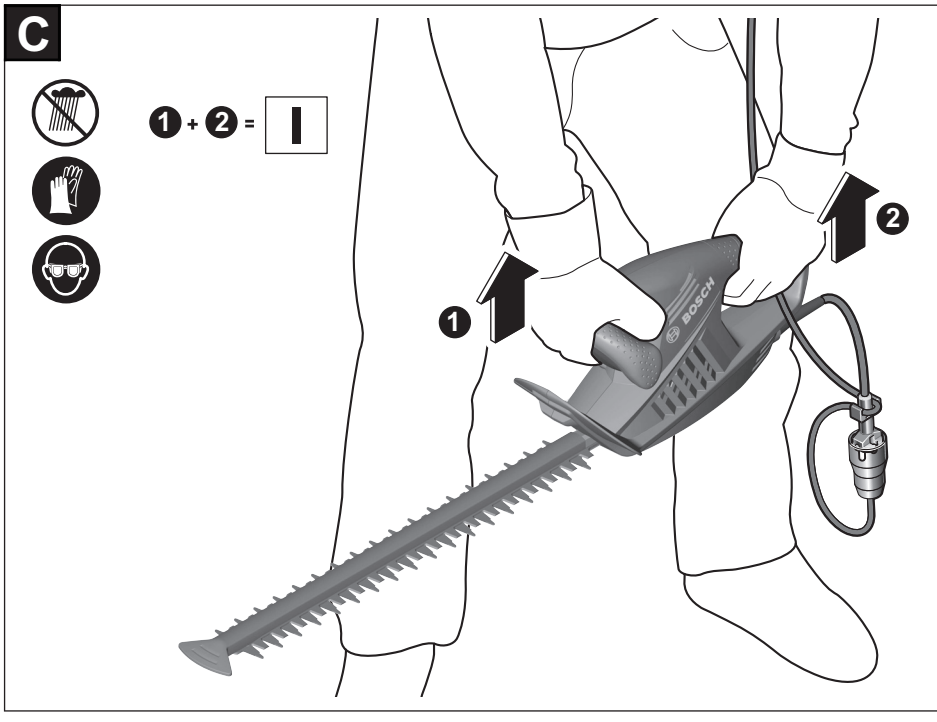
ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

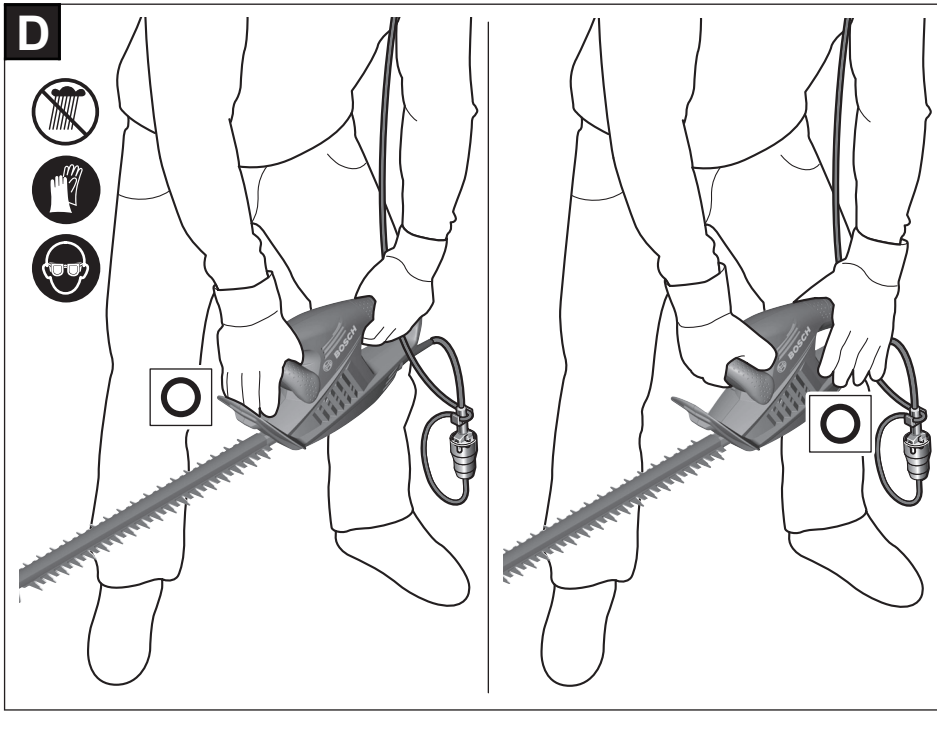
〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

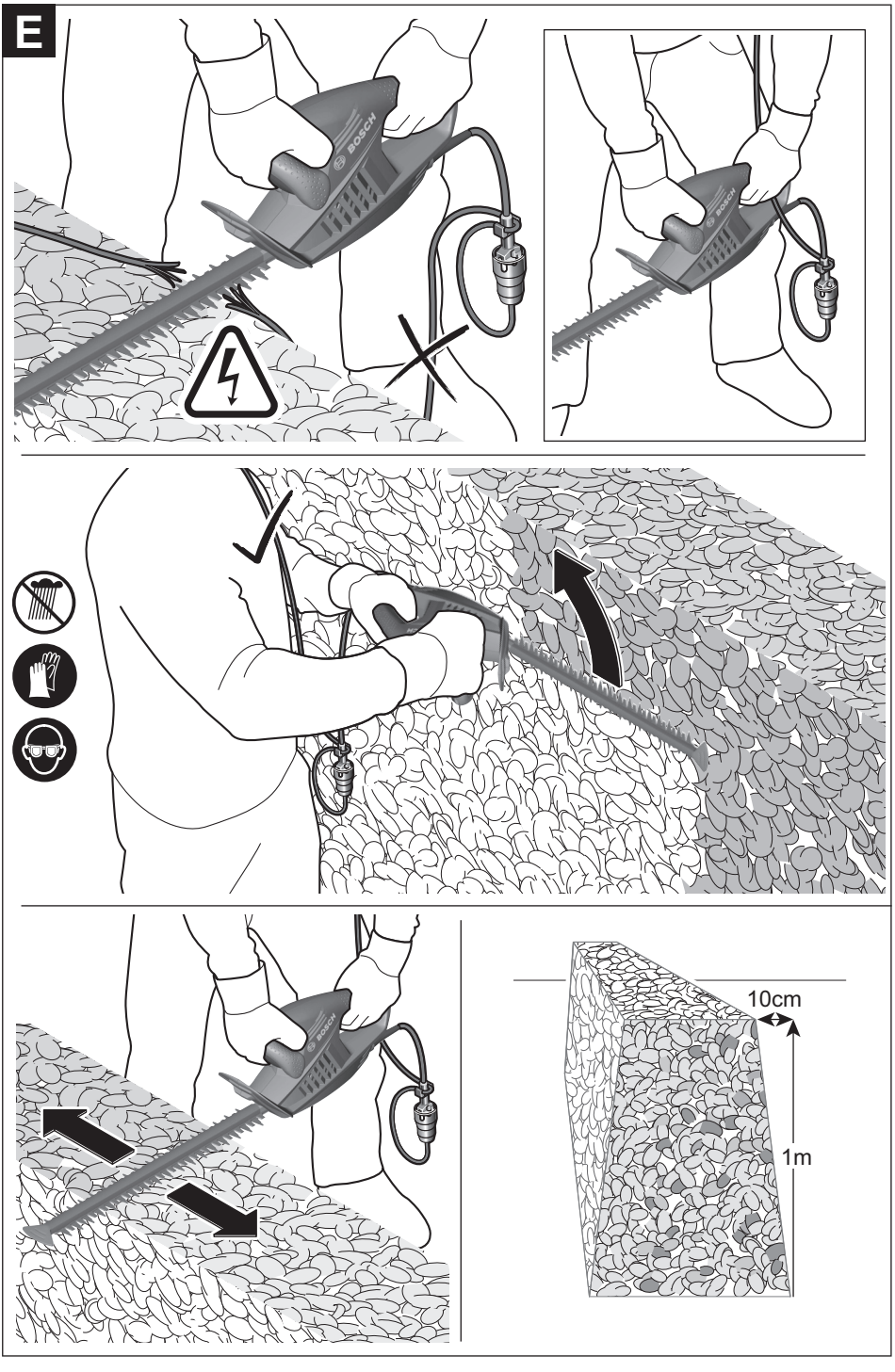


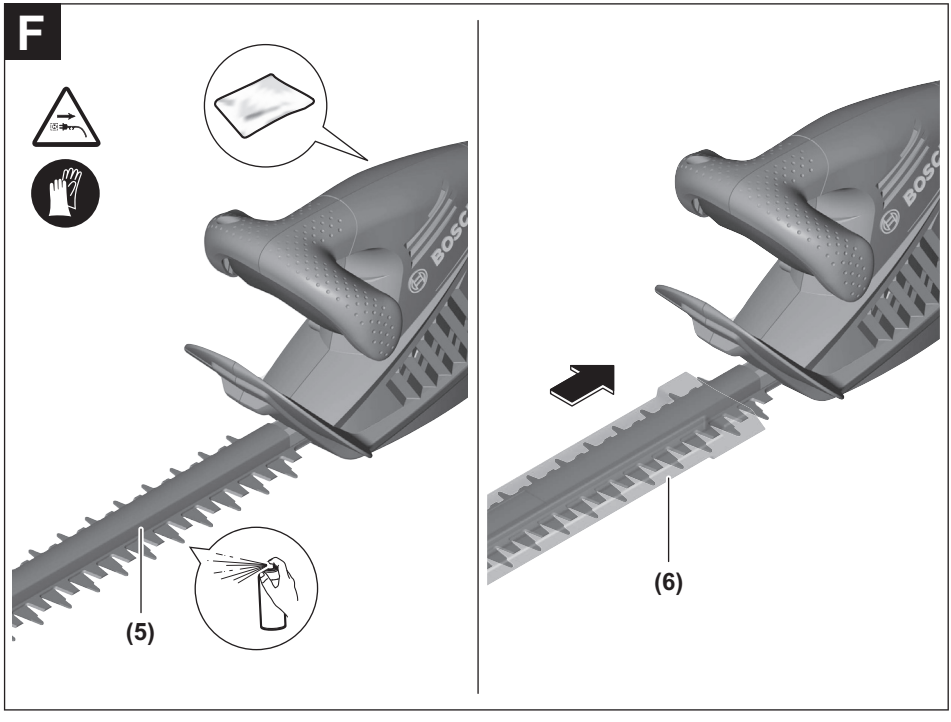


・図のコンセント形状は、日本仕様と異なる場合があります。
・(8)は市販の屋外用延長ケーブル(標準付属品ではありません)


C
1 + 2 =
1
2


D


E
10cm
1m


F
(5)
(6)

ボッシュ電動工具保証書

品　名	ヘッジトリマー
型　式	EHC 45
製造番号	※1
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ日	年　月　日

※1 製造番号は本体のラベルに表示されています。

お客様	お名前
	ご住所　〒 TEL　FAX

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

販売店・住所・TEL・FAX

ボッシュ株式会社　電動工具事業部
〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7
TEL 03-5485-6161
ボッシュ電動工具サービスセンター　TEL 0493-56-5030
ボッシュ電動工具サービスセンター西日本　TEL 092-963-3486

〈 無料修理規定 〉

1. 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に商品と本書をご持参・ご提示いただき、お申しつけください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、風水害、地震、落雷、その他天災地変、公害、煙害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障及び損傷
   (ニ) 工場でのライン作業等の連続長時間使用による故障及び損傷
   (ホ) 消耗部品（バッテリー等）が損耗し交換修理を要する場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 故障ではない点検、調整
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is only valid in Japan.
5. 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管してください。
6. ご転居等の場合の修理ご依頼先は、お買上げ販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでお問い合わせください。

修理メモ